

大阪大学
21世紀
懐徳堂

アイ・スポット
i-spot 講座



2019年は、
大阪空港が開港して
80周年の記念年です。



i-spot 講座

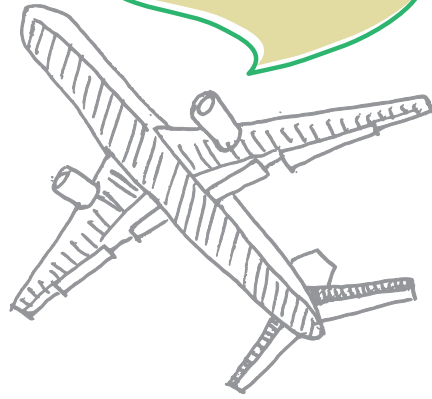
大阪市と大阪大学が共催する、公開講座

全3講座 受講料 無料 定員 各講座30名

今年度より、先着順から抽選制になります！

会場 / 大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」(淀屋橋 odona2 階)

受講料は無料です。
お気軽に
ご参加ください！



この機会に、「空を飛ぶ」生物の
代表格である鳥の生態について、
そして今まさに日本とその周辺を
飛んでいる航空機についてなど、
「空を飛ぶ」というキーワードか
ら連想されるモノたちを様々
な角度から考えます。

そんなあなたに、i-spot 講座！

仕事帰りに、知的気分転換したい。

いつもと違う世界をのぞきたい。

気軽に教養を身につけたい。

1講座から
受講可能！

受講料
無料
(各回申込制)

7月31日(水) ①18:30-20:00

鳥の歌が
教えてくれること

松林志保

大阪大学大学院工学研究科 特任准教授

鳥の歌を聞いたとき、今どこで鳴いたんだろう？なんて言っているのを知りたい！と思ったことはありませんか？本講では、ロボットの耳を使った鳥類の新しい観測技法の紹介と、野外調査を行う中で「聞こえてきた」鳥の歌の世界の一片をご紹介します。森や野生動物が好きな方、ロボットやAIに興味がある方、ぜひご参加ください。



1次申込受付期間 7月1日(月)~7月15日(月)

8月21日(水) ①18:30-20:00

なぜ、医師が大阪の
「空を飛ぶ」のか
大阪府ドクターヘリの紹介

中川雄公

大阪大学医学部附属病院 講師

日本では、現在、53機のドクターヘリが運航しています。少なくとも53人の医師が、毎日のように空を飛んでいることとなります。その中の一つ、大阪府ドクターヘリは2008年1月から運航が始まりました。どうして、医師が、日本の、さらに、大阪の空を飛ぶ必要があるのでしょうか。本講座では、大阪府ドクターヘリ導入の経緯や活動の紹介を通じて、救急医療におけるドクターヘリの意義と役割を解説します。

1次申込受付期間 7月22日(月)~8月5日(月)

8月28日(水) ①18:30-20:00

空と航空機と軍事の世界
日本とその近傍で軍用機が
係わるあれこれの事例を
国際法から見ると

真山 全

大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授

戦争でなくとも日本とその周辺には軍用機が徘徊しその密度は世界有数でしょう。普通なら日常生活帯同で民間機に乗る程度ですから実感しませんが、軍人の他にそんなことばかり考える法学者もいます。国際法学者です。高度100キロを弾道弾が駆け抜けたら領空侵犯？サミット会場に乗取外国旅客機が突入してきたら空自戦闘機が空中で爆砕していい？亡命軍用機をバラして調査可？米軍機は何故気ままに日本で飛べる？嘉手納拠点の米軍仮想敵役の民間軍事会社戦闘機が落ちたら誰が責任とる？中国軍機が勝手に通れる日本領空ってある？といった問題を国際法から分析します。

1次申込受付期間 7月29日(月)~8月12日(月)

